

会 談 座

戸倉先生をむかえて

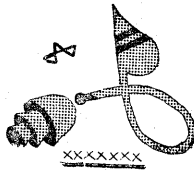
出席者

戸倉 哈尔
及川 ふみ
松村 康平
外 お茶の水大幼稚園職員一同

昨年フランスで開催されました世界女子体育総会（四十八カ国参加）に日本代表として出席され、またその後長期間にわたって、イタリア、オランダ、スイス、イギリス、フランス、ドイツ、フィンランド、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、アメリカ、カナダ、スペイン等、各地を視察されて来られました戸倉ハル先生をこゝにお迎えし、各地での豊富な御経験をお話ししていただきました。

及川 戸倉先生、今日はお帰り早々お忙しいところを頂いて有難うございます。先生に先づ御報告しなければならぬ事、それは今年の夏の講習がずい分盛んで、受講者千数百人位もあつたでしょう。プリント等が足りなくて、お叱りをうけた程で、とにかくあの体育館がびっしりでした。それから秋

になってからは沢山のお礼状をいただきました。ところが、講習でした材料が、運動会などで、好評だったとのことでした。このことを先づ御報告致します。戸倉 あ、そのことはもう聞いちやつたのです。千葉と高知の方からきいたのですが、今年先生がいなくても立派におやりに



なりましたよ。たまにいななくてもよいですね。皆さんがよくおやりになって、及川先生もほくくでしたよ……と云っておられました。千葉の方はこの卒業生でしょうか？

菊地 あ、Sさんですね。戸倉 高知の方は、小学校の校長先生をしておられる方でしたが、その幼稚園の若い方達が講習に出て来たが、とても盛んでいきまくられたけれども、いきを吸収するだけでも役立つと言つてましたとのことでした。それは、いゝ悪いでなく、一世紀にわたる伝統

で、のれんが古いからよそとは違いますって
親しい方でしたので云っておきました。

及川 先生のお帰りが、次々と延びたので
大変気が揉めたのですが、やっとお帰りにな
って安心しました。

戸倉 お金がなくなつたのです。欧州に三
ヶ月いましたが、感じたことは、やっぱり学
校のお蔭です。こちらを出る時に、文部省、
外務省から、向うへ行つたらすぐ大使館なり
公使館へ行けと言われてあつたので、行きま
した。すると有難いことには、大抵の国に本
校の卒業生がいるのです。イタリー、オラン
ダ、スイス、イギリス、フランス、ドイツ、
フィンランド、スウェーデン、デンマーク、
ノルウェー、アメリカ、カナダ、スペインの
十三ヶ国に行つたりちで、九ヶ国まで本校の
卒業生、二ヶ国が附属女学校の専攻科の卒業
生がおりました。さすがに明治初年からつゝ
いた学校だと思ひました。私は筆不精ですが
知らず知らず行かなかつたのに、日本の本省か
ら報せて来たというので、待ちうけてくれて
(予定よりも一ヶ月位遅れて行つたのです
が) その車で(デンマークならデンマーク
の車)で案内してくれました。言葉が分らな

いので、本当に助かりました。ところが、大
使館へ行くまでの間、例えば、デンマークか
らフィンランドへ行くというような間が手裏
似、口裏似で大変です。卒業生がいることは
本当に有難いことです。

次に持物のことです。私は初旅ですから
持物が分りませんでした。持物、必ず要るも
の、こういうことを研究して行つた方がいゝ
ということ、そうしたことを私は身を以て味
わいましたから、これから行く人に教えて上
げたいと思つています。それに男と女でも違
いますし、一ヶ国に長いこと行つて来た人と
私のように四ヶ月間の間に、方々の国を歩き
廻る場合とでもちがいます。

私は、日本の夏は知りませんでした。今
年は夏を何べん味つたかわかりません。合着
一枚持つて行きましたが、南洋の方へ行つた
時は暑くて脱ぎたい位で、それから二十日位
でフィンランドへ行くと、真冬の寒さ、日本
の一月から二、三月の寒さで、冬物を持つて
いなかつたのでえるえ上つたのですよ。そう
いうことで、実に旅行の準備が要りますね。

及川 ヨーロッパで幼稚園はどこへ御覧
になりましたか。

戸倉 それが残念なことに、今度参りまし
た主な目的は、フランスで開かれた世界女子
体育総会であつて、その会議は七月十九日か
ら二十六日までで、それに間に合うように行
つたのですが、その前に、オランダのロッテ
ルダムで欧州各国の一回の出場で、その
国を代表する体育の展覧会があり、そこへも
行つてみるよふとこのことで行つて来まし
た。そのために、イタリーなどは、そっくり
見れなかつたのです。欧州では七月一日から
幼稚園から大学まで休みになり、九月二十日
から高校以下の学校がはじまり、十月一日か
ら大学が始まることになっていきます。それで私
が行つた時にはお休になっていまして、九月
二十日から、イギリス、フランスの幼稚園を
見たわけなので、他は施設を廻りました。ア
メリカでは幼稚園から大学までの学校視察で
四十日を費しました。アメリカは腹が立つ程
立派です。私は困窮している欧州の学校の状
態を見たかつたのですが、そういうヨーロッ
パでよく見られたのはイギリスだけで、フラ
ンスは普通ではなかく教育をみせないの
です。大使館から特別の許可を得ないと見られ
ません。ですから、主として見たのは、イギ

リスとアメリカカだけになります。

先づバリの会議についてお話ししましょう。

はじめ、行く前に、どこの人と宿舍が一緒になるかわからないということをききましたので、英語は単語しか分らないし向うへ着くまで心配したのですよ。ところが行きまして、十八日の晩八時頃バリに着いたのですが特別のはからいでシティー・ユニバーシティーの会場の中にメース・オブ・ジャパンという薩摩さんの寄附した日本人留学生の寄宿舎があつて、そこは女人禁制だったので、特別に立派な客室をとってくれて、そこに泊めていただきました。その時は嬉しかったですね。よその国の人と一緒に泊ることも考え様によつてはよかつたのですが、その晩は、飛行機の中でさんく御馳走をいただいた後なので、御飯は食はずに寝ました。あくる朝、はじめて明けたバリをみたわけです。八時から会議が始まるので七時までに食事をしようと思つていたのですが、いやに静かなのです。どこで食事をするのか戸迷ううち八時近くになつてしまつたので、もう朝は食べまいと思つて会場に臨んだのです。会場の門に、

参加四十八ヶ国の国旗がずらつと並んでいます。日の丸はどこにあるだろうと探しますと真中から三つ位左に日の丸が立つているのです。それを見ると、涙が出てしようがなかつた。あ、いう所で見ると日の丸の感じはたまらないものです。国旗一つにやたらと涙が出るのです。言葉は母国語でよい。訳してくれますから。私も日本語でした。但し発言の時は母国語でよいのですが、講演をする時には、英・仏いづれかですることになつておりました。

(二)の時松村先生御出席)

その会が出席者四十八ヶ国の代表が全部女ばかりなのです。運営も全部女で、下働きの男の人がポツポツみえていた位で、あとはみんな女なのです。そこが私は羨しかったですよ。ここの講習会も女ばかりですから、その点は遜色ないのですが、何しろ、世界の会議に女ばかりとは大したものだと思います。さて朝、開会をしてお屋になりました。お屋の休は三十分間だったらしいのです。その日はバリに着いた翌日で一日休むかと思つたらしく私の通訳は来ない。私一人でしょう。御飯をどこかで食べようと思つて探したけれ

どないですよ。御飯を探したりプリントを貰つたりしているうちに、三十分経つてしまいました。私は忠実なので急いで席に着きました。いさ、かお腹がすきましたね、晩はうんと食べようと思ひました。会は晩の十時まであるのです。五時頃休憩があるので電車にのつて食へに行つたのですが、どこもやつていない。どこも戸が閉つていてあけてくれないのです。そのうちに又時間になつてしまいました。日本の代表もぐれと言われたりしたら、お腹が空いた以上の不覚と思つて、急いで出席しました。あとで聞いたのですがフランスでは晩御飯は早く七時で、十二時一時が普通なのです。その時間以外の時間はお店の人はゆっくり休息するのです。

それでその晩は、十時に終つてから家に帰つて水を飲んで寝ました。会議中は緊張していたのでお腹がすかなかつたけれども、水を飲んだらお腹がすきました。お金持の欠食とはこんなことかと思つて、ふとんにもぐり込みましたよ。あくる朝、御飯を食べるところはどこかとき、ましたら、なんと会場なんかにはないのです。ずつと奥の方にあるのです。二食分位平げましたわ。

会議はいろいろにわたりましたが、一番主要問題は「女子の体育」という問題で、それに少年、青年、成年と三つに分けて討議し、近代の体操・近代のダンス・女子の陸上競技・運動の分析・オリンピックへの女子の参加についてを議題として総会及分科会で研究しました。私の発表は「日本に於ける女子のリズム教育」でした。日本なんて知らない人がいるのですよ。失礼なこともあるもので。ところが嬉しかったことは、会議中も、方々の国を廻る時も敗戦国の憂き目を味わわなかったことです。

会議の三日目に文部大臣の招待があつて、ブドー酒、シャンペンなどをぬいて皆豪の者で、女でもよくのんでいました。私も飲みたかつたのですが、どうしても飲めない。皆でわい／＼やっていると、ミス・トクラ／＼と聴えるのです。アメリカのエンズワースという人がその会の采配をふるっている、まあ會長でしょう。その人がよんでいるのです。大よろこびでシャンペンを飲んでいる通訳をよんでできくと、文部大臣に日本から来た戸倉に皆の代表で握手してほしいということですが、私でもないことでしたが、私は立つて行き

ました。文部大臣がサツと手を出したので、私もあわて、手を出しました。そしてサンキユーベリマツチと申しました。向うではフランス語で何やら云つてましたが、私は夢中席に帰りました。すると怪我の功名があるもので、通訳が「結構な握手で、」と言うのです。きくと、直立不動でよくやつてくれた、よくおじぎをしなかつたという。日本から来た人は、皆おじぎをしなからするのだそうです。私は握手の方法も知らない。向うがギユツと握つたまでのことです。怪我の功名はそんなところにあるんですね。要は日本が一番遠いのです。日本は敗戦で来まいと思つて一人でもやつて来たところからはる／＼出したらしいのです。眼は黒いし、髪は黒いし珍しいでしょう。会でも二日目にはジャンはどうかときくのです。そしてねぎらつてくれます。

第二日目から各国の代表を数名づつ呼んでフランスの役人と昼食することがあつたが、その初日に私だけをよんだのですよ。私は通訳と二人で行きましたが、ここでは会が終つたら好きな所を見せてやるとか、とてもよく

して下さいました。あとの日は十人位づつ、順々にしたのですが、どうして、最初の日に一人だけをよんだのか、未だに不思議でならないことです。このように何でも日本を先立て、くれて、敗戦国のみじめな感じをフランスの会議では味えませんでした。

殊にドイツでは目がふれると、子供も年寄も私に会釈してくれるのです。レストランの御馳走の時も私の所だけあかりをつけるのですよ。そして真暗になると、やつと皆の所につけます。それだけ電燈を大切にしていること、旅人を大事にすることがわかりました。

あう人皆が日本人に対してい、感情をもつていいるのは、ドイツだけでしたね。日本に対して特別の感情をもつています。ドイツ人は欺けたことを何とも思つていませんね。ドイツである学生と話をした時に「Zwei」と言つて別れました。若者にまで「Zwei」という気があるのです。大変だな底力があつて大したものだと思います。

ドイツでは第一にベルリン大学へ行つてみました。ベルリン大学はその影もない、秋草が生えてその中に玄関の柱が一本立つているきり。こわれたまゝなのです。ドイツでは第

一が学校の復興で、小学校が全部復活している、中学校が殆んど出来ている。大学は仮校舎でした。ドイツでは向う五年間どんなことがあってもストをしないことが一般の約束になっています。学校復興は、幼稚園と小学校は木造であります。燃料は石炭は一つもたかず、日本のように木をもやしています。第二が軍需工場、重工業、ラジオ、レンズ、機械

工業の部分品を作っています。これは皆輸出されて、国の人はよいものが持てなくても戦前の二倍半の輸出で国をこしらえているのです。皆、困窮に耐えることが今の問題です。第三が住宅を建てることで、戦災者は鳥小屋

のようなどところに住んでいて、鳥小屋のようなどころから紳士が出て来ます。それから官庁を建てることです。しかし出来上つた官庁は素晴らしい。大理石を使つたりして二度建て直さなくてもよいように、立派なものを建てたのです。ベルリンは十軒のうち九軒まで戦災で、一軒しか残っていないという割合で、ボン、ミュンヘン等は半分位です。ベルリンの戦災は見なげやわかりませぬ。戦災がそのまゝ、のこっています。ヒトラーの邸跡は、うちの大学の運動場位ですが、粉みぢんめぢや

くにしてありました。ヒトラーが手をひろげ、民衆によびかけている像のあるヒトラーの広場は、こわされないで残っています。あの頃はえらく憎んだのですが、今では「ヒトラー」という気持ちでいるそらで、皆が大事にしています。銅像もそのまゝ、残っています。

先づどこでも(Change money)をするのですが、ドイツに行つたら英語は通じませんよと言われていましたが、本当に一般の人には一向通じません。要所々の言葉だけは通じましたが。チエンジマネーの所でもじくしてしまいましたら、横から

「アナタ、日本人、ハナセマスカ」と声をかける人がいるのです。見ると六十位の女の人手を見てそして通過となる。しばらく行くと又さつととめられる。今度は運転手が長く調べられて見ると、百米位へだてた所で赤い旗を立て、汗みどろで佇んでいる。道を作つて

「ワタシ、大阪住吉デ七年間イマシタ。アナタ何シニ来マシタカ」

「私は実は教育視察に来ました」

「ワタシの兄、中学校の校長ヲシテマス。アナタニイイヨウニシテ上ゲマシヨウ」

「宿モ高クナクテ、親切ナトコロ、紹介シテアゲマシヨウ」

と宿まで紹介してくれました。その人は運転

手をつれて来て、

「コノ人泥棒ジャアリマセン、安心シテ明日カラオノリナサイ」と私に云つてからその通り運転手にも云つたらしく、運転手はころげ廻つて笑っていました。翌日兄が来ました。その人と、私の英語が丁度よいのです。ブロークンであんな愉快なことはありませんでした。いろいろ案内してくれましたが、一番怖

かったことは、東と西とにベルリンがはつきり分れていて、向うには行けないことになっている。飛行機で上なら行けるのですが、その境のぎりぐりの所まで自動車で行つたのです。そこまで行くと、赤い毛のついたものを

さつと数人の人が差出します。車をとめて先づ私を調べる。立つて見る、坐つてみる、ハンドバックをみせる、自動車の中を見、運転手を見てそして通過となる。しばらく行くと又さつととめられる。今度は運転手が長く調べられて見ると、百米位へだてた所で赤い旗を立て、汗みどろで佇んでいる。道を作つて、仕事をしています。こゝを越えたらもう切かなきやならないのです。仕事をしな

きや日当をくれないのです。運転手がかもつと見せると言いましたが、私はもう黙日だと断りました。ひやく／＼しましたね。パスポートをとられたりしたら、教育者だから困るという言葉で断りましたよ。ずい分きわどい所まで行ってみて来ました。

もう一つ、ワグナー祭があるのです。ベルリンの西にかゝつていました。フランスにいた時に角々にその広告がかゝつていましたが切符が五千五百円なのです。旅費が少しなのにこれは高すぎると思つたのですが、しかしもう見れんし、見ようと決心してフランスから電話で切符をき、ましたら四、五枚残つてゐるというので、それを買いました。あんなに欺れているのに、ドイツって芸術の国ですね。一万人のワグナーオペラに各国の人が競つた着物で来ているのです。タキシード、イブニングで。私は旅衣で行きました。各国の服装を見に、お弁当持ちで来る人もいゝのです。私は始まる十分位に行きました。四時一分前にチャーンといつたらもう誰もいゝれないのです。どんな遠くから来た人でも一分おくれたらもう無効です。二時間二十分の演技で「ラインの黄金」というギリシャ神話のもの

でした。黒だけの服装で七人の主役で、色彩的にはそれだけです、しわぶき一つ出来ないう程歌はポリリウムあり演技はすばらしい。音楽は床下から出てきます。音はpからだんだん／＼出て来てそれがmになりfになる。私はあんな音楽で聴いたことありません。その芸というか、音楽にたゞわけもなく泣けました。やたらと涙をとめることが出来ないのです。

その次に、ベートーヴェンの第九をしました。男百人の歌い手、女百人の歌い手、四人の独唱者、オーケストラ百人、男女二百人のコーラスが頭一つ動かさない、手一つ動かさない、直立不動のまゝで歌つてゐるのです。私はそれに感服しましたし、あんな第九をきいた事ありません。オーケストラも大したものです。音楽に酔つて帰つて、帰つて又泣けました。これを感銘の深い人に見せたかったですね。私のような者でさえ、こんなに感激するのですから、音楽のわかる人、オペラのわかる人に見せたら、どんなに感銘深いことだろうかと思ひました。芸術に泣けたのはその時でありました。ワグナー祭の立派なものに驚きました。石炭もない、何も無い、人は

鳥小舎の中から出て行く今のドイツに、あゝ、
いう芸術を持つてゐることが羨しくなりました。

フランスでは電車の中でもキッスしたりするので、甘くて／＼仕様がなないと私は腹を立てたのですが、それはフランスの国民性で、好きと思つたら好きな表現をするのがいゝところ、それを見る方が悪いのですと云われたので、それから見ないで横を向いてゐることにしていましたが、そういうやわらかいフランスからドイツに行つたところ、若い娘さんがお化粧してゐない。日本の昭和二十二、三年頃のきもの、毛のものはありませんし、昔はやつたツンツルテンのベンベルグのきものを着て、どん／＼どん／＼歩いてゐる。フランスでは、ねつて歩いてゐましたが、青年の意気というか、底力がわかりましたね。

ドイツの宿では(十日程いましたが)下で工事をしていましたが、毎朝七時五分前になるとちやんと集つて、七時きつかりにタツと仕事を始めるのです。それから八時開ききまです。大使館できくと、ドイツでは今働け／＼で、敗れてもその後復興すれば前よりもよくなるというので、今度の敗れた事を悲しんで

いない、これを機会に皆働いてもっと盛り上げようというのです。日本では九時が来ないと集らない、四時には帰る、これで日本はいゝのかしらと思ひましたよ。東京だけだつて火事一つあると十軒や二十軒すぐ焼けてしまふような復興でいゝのだからと、つくづく思います。それから戦争を知らない小さい子供に、戦争に敗れたことをどう教えたらいいのか、ドイツではこわされた石や煉瓦がそのまゝ、おいてあるから、小さい子供にも戦争に敗れたということがわかります。向うの人はこわれた石やレンガをおいておくのは、まだ他の仕事をしていて始末出来ないからそのまゝにしているのだと言っています。私は教育の手段として、こわれたものをそのまゝ、おいておくことはいゝと思ひました。日本を発つ時にはこれだけの復興で安心していただけませんが、ドイツで思ひました。あの復興で日本はいゝのかしら、再び大手を振って歩けるのはいつの日かと思ひました。危い復興であり危い国民の今の心だと思ひました。理くつを言つて笑われるかもしれませんが、私の本当の感想です。

今度の旅は私独特の感傷で、

——幾山河越えささりゆけば淋しさの

果てなむ国ぞ今日も旅行く——

——「今日も戸倉旅ゆく」——

と一人言して歩きましたが、本当に困つたことは、そんな生易しいことではないということが分りました。この旅で一人で世界を歩いて来たことが、どれだけ私を大きくし、どれだけ私を教育したかわかりません。

困つた話を一つ致しませう。

デンマーク、フィンランド、スウェーデンこの三ヶ国は体育有史以来みるべきものであります。そのデンマークの首都コペンハーゲンは、北歐らしく駅はすばうとしてかくす所なく、そのような大きい駅は見たこともない程です。その駅から地図で見ればそう遠くないブックという有名な学校を探して汽車から下りました。何語も分りませんが、「ブックスクール」と云えば有名で、勿いている人にも自動車の人にもすぐ分ります。ところがその駅からは行けないと云うのです。何故かときくと、手で波のような形をするので地図でよく見ると鳥のようになっているので成程と思つて英文文をしてよくき、まし。た

そして駅の人から丁寧に丁寧に教えて貰つて汽車に乗つたところが、三十五、六才のデンマーク人が「どこに行くのだ」ときくので、「ブックスクール」と答えましたら、「近くまで行くから安心してくれ」と申しました。その人は戦争前横浜に行つたことがあるそうで、簡単な英語は言える人でした。その人はオーレンまで一緒に、丁寧に呉れました。

オーレンで汽車から降りた時は、日が暮れて淋しい停車場です。宿へ行こうとしたが一度きいてみようときくと、その人がどうも連れて行つてくれるらしいのです。デンマーク語なので言葉は全然わかりませんが、一寸した眼の色や空気で感情が分ります。バスに乗れというらしいのでバスに乗ると、乗つているのは女は私一人きりです。それから私をどうして連れて行つたらよいか、バスの中の人皆で相談しているらしいのです。

小一時間乗つて、八時半位につきました。皆で私の荷物を下してくれて、一人の人がかけて行つてくれて、迎えの人が灯りをもつて来てくれました。その間、十分位の間バスの人達が皆私のために待つていてくれたのに、

私はサンキューとも云わず、別れてしまいましたが。ニコくとしておじぎを一つする余裕もなく別れたのが、今もって残念でならないのです。その迎えに来た人と一緒にブックスクールへ行きました。雨は降ってくるし、あかりは見えない。こわくて何かあったら搭闘でもせにやならんとすら思っていました。やがて無事につきました。夏休のことだし、九時前だし誰もいません。ブックは、すでに三年前に亡くなっていて、ブックに四十年間仕えたというおじさんが出て来て、来賓の泊るところがあるからそこへ泊れといってくれました。それから、その室に二人の女の人、一人は体育家、もう一人は女中さんで三人おかれたのですが向うはデンマーク語なので一寸もわからないのです。御飯はどうかときいたらしいのですが、よくわからない。しまいに女中さんが手で御飯をかきこむ真似をしたので「あ、おなかすいた」と日本語で云ったから、表情でわかったらしく、運ぶは、夜の夜中にあらゆる御馳走を持って来てくれて、私はよろこんで皆いたゞきました。向うも万足していました。翌朝起きると素晴らしいよい景色です。

ブック・スクールは私立の大きな学校で、ブックがデンマーク中を十度も廻って寄附を仰いでした学校で、國王も三回みえたことがあります。うちの体育館の二倍位の千人を容す位の体育館が二つもあり、すべてに完備しています。一般人の体操する時間がありますがそこでは七十、八十の老いた人が皆体操をしているのです。まげるところをまげないでもあ、いう体操をする気持に感心致しました。これは困った話の一つです。こゝに行く時の恐しさのように、命を出して行くことが度々ありました。しかし若い人は一人でやるものではないと思えました。でも一人だからこそ親切によくしてくれました。地図をひろげていけば、どこへ行くのかときいてくれる。積極的にしてくれたのは大抵男の人で、女の人はきけば丁寧に教えてくれました。これは一人だから、ちゃんと親切にされたのだと思えます。五、六人で行ったのなら、この親切さにはあわないと思えました。たのしいことは苦勞した後のことです。苦勞したことで私をどれだけ大きくしたかわかりません。そういう財産を、うんと私はもって来ました。

及川 この間羽田におむかえにいった時、

戸倉先生はやせて帰って来られるか、肥って帰られるかが皆の気持でしたが、飛行機から堂々とふとつたお姿が見えた時は、胸がたくなりましたよ。

戸倉 ありがとうございます。私もフランスではやせました。けれどもアメリカに渡つてからは同窓生が沢山いて、皆よくしてくれたので、太さはすっかり戻り、日本に帰ってお茶漬さらくしたり、お寿司を食べたり日本の食物を食べて全く元にかえりました。欧州の時はやせました。ルーブル博物館でミレーの晩鐘の原画をみている時です。その前からついて来ているらしい人がいましたが、そこでも後でもそくしているの、いよ／＼後を向いて見ると、後にいた人もこっちを見ます。そして「戸倉さん」というのです。よく見ると黒沢という音楽の人で、若い頃土佐に奉職した時一緒だった人です。若い時はよく知っていたのですが、今は白い髪になってわかりません。向うでも、どうも似ているが、やせて戸倉さんらしくないので、ちがうかなと思っていたら、「うん」という暖ばらいがあなただったから声をかけたのだとい、ました。やせる位苦勞したのは悪いこ

どではなく、アメリカの様ならい廻しより苦勞が私の心の背景となつてよかつたと思つています。

堀合 フランスで学校をみせないのはどういふわけですか。

戸倉 よく解釈すれば、生徒の心が散ること、先生が飾るということでしょうが、悪い方に解釈すれば、悪いところを見せたくないこと、自分だけ藏しておきたいということだろふと思ひます。フランスは大体芸術的な国で、町角に芸術があり、セーヌ河の様子も向うの建築が合せてあるように見える。芸術の町ではわーっとしています。パリに行つたら帰らん筈ですよ。イギリスは兵隊がいて軍国主義だというのが、旅人の感想です。

菊地 フランスの若い女の方の服装はどうでございますか。矢張り華美ですか。

戸倉 フランスは花のバリというから、どんなかと思つていましたら、皆黒とねづみ色です。ところがすばらしいデザインです。通訳が展覧会があるから行かんかというので見に行つたところ、あそこにもこゝにも日本人がいる。大阪や洋裁の学校から来て、すぐ書いて帰つて宣伝するのです。今年の流行は、

沢山のひだ、後にチャックがついてゐる事、出来るだけ胸を細く見せる事、スカートは朝顔型、頭はドーナツ型です。

フランスの会議の時に面白いことがありました。出席者は体育学校の校長、研究所長とか会長であること、なつていましたので、四十八ヶ国の人は大体そういう人でした。戸倉は校長かときくので、お茶の水女子大学のテ

(19頁より続く) 空襲がだん／＼激しくなりまして交通も思うにまかせぬ或日、先生が訪ねて来て下さいました。そして「先生のお顔が見度くなつて参りました。お目に懸れてよかつた。園長の留守中連盟の事はどうぞ宜敷お願い致します。亦元氣でお目に懸りましたようね」と仰有つてお別れ致しました。それが最後にならうとは思いませんでしたが、其後の空襲で再びお目に懸る日が参りませんでした。誠に傷わしくお氣の毒な極みに存じます。先に申し上げました海野先生、森先生、箕島先生、村井先生等、既に故人になられ今日此処にお迎え出来ない事は誠に心淋しく存ぜられます。之等先生方の御生前中の御功勞を偲び満腔の謝意を表しますと共に、皆さんと御一緒に謹んで衷心から哀悼の意を捧げ度いと存じ

イーチャーだと云いましたら、文部大臣が早く校長になりなさいと云いました。そういうあどけないことを、あゝ、いう大きい人が云うので面白く思ひました。

及川 どうもいろいろの御話ありがとう御座いました。又この次をたのしみにいたします。

(御茶の水大附属幼稚園園長室にて)

ます。猶此二十年間御一緒にお仕事をさせて頂いて色々お世話になり、連盟の爲に幾多の御苦勞をおかけ致しました功勞者として忘れる事の出来ない先生方が此の中にも沢山御列席載り居りました様々の思ひ出が臉に浮んで参りますが、其れは又の時に申残させて頂きます。

時代は今や大転換致しまして幼稚園教育も愈々重大さを加え、私達の職責も益々増大せる事を自覚致しまして、自らの修養に研究に最善の努力を払うべきだと存じます。就ては本連盟の許益々結束を固め、所期の目的達成に邁進致し度いものと存ずる次第で御座います。甚だ整わぬ思ひ出話で御清聴を煩わしました事をお詫び申し上げます。之で失礼させて頂きます。

(大阪府私立幼稚園連盟理事)